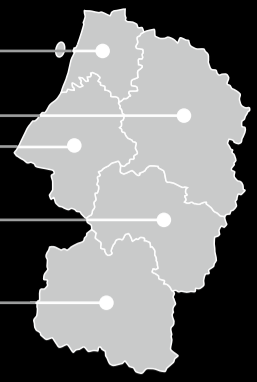


霞城



隊区担当中隊

- 第2中隊
- 第1中隊
- 重迫撃砲中隊
- 第3中隊
- 第4中隊



第20普通科連隊広報紙 発行所/山形県防衛協会

第20普通科連隊ホームページアドレス
https://www.mod.go.jp/gsdf/neae/6d/unit_hp/20i_hp/index.html

第20普通科連隊

KAJYŌ



No.709

「令和3年度 王城寺原演習場 秋季統一整備」に参加



それぞれの任務を全う



「男子第57回・女子第32回 東北高等学校駅伝競走大会」に協力



大会運営をサポート

Contents

- 2 ページ
- 「令和3年度王城寺原演習場秋季統一整備」に参加
 - 山形の秋空へ「令和3年度航空機体験搭乗」を実施
- 3 ページ
- 「男子第57回・女子第32回東北高等学校駅伝競走大会」に協力
 - 「令和3年度第2次陸曹候補生課程履修前教育」を実施
 - 厳正かつしめやかに「令和3年度山形県自衛隊殉職隊員追悼式」に参加
- 4 ページ
- 「令和3年度第1回女性活躍推進委員会」を実施
 - 「令和3年度防衛省永年勤続表彰伝達式」を実施
 - 第2次師団訓練検閲優秀隊員紹介
 - 各種表彰
 - 12月行事予定

2021

November

11

「令和3年度 第2次陸曹候補生 課程履修前教育」を実施



緊張した表情で報告する被教育者



教官になりきり指導法を実施

11月8日(月)から19日(金)までの間、神町駐屯地において「令和3年度第2次陸曹候補生課程履修前教育」(主任教官・最先任上級曹長 松本准尉)を実施し、被教育者として20名(内2名が第6施設大隊)が参加した。

15日(月)には西訓練場において、課目「各個の戦闘訓練指導法」を行い、自衛官候補生役に対し「伏せ」や「ほふく前進」の動作について練成させるという場面において、教官の立場で作成した訓練指導計画(LP)をもとに「主要演練項目」や「精神徳目」を示し、指導法を実施した。

指導する教官役は自衛官候補生役が理解しやすいように、指示棒を活用し的確に着眼を示すなど工夫を凝らしながら実施した。また、訓練の復習として、質問形式で

訓練内容を出題し理解度を確認するなど、指導法における技能を向上させるべく真摯に取り組んでいた。

履修前教育に参加した20名は、訓練指導計画の作成、指導法の要領、小銃分隊の攻撃における分隊長動作、伝走走(6km走)など多種多様な訓練をこなし、陸曹になるべく確実に歩を進めている。



連隊長現地指導



戦闘指導



分隊長動作について学ぶ



大会役員と認識の統一を図る



車両準備

11月11日(木)、長井市で開催された「男子第57回・女子第32回東北高等学校駅伝競走大会」に協力隊長(本部分部管理中隊・齋藤2尉)以下21名、車両10両をもって協力した。

大会は長井市陸上競技場付設「ながい黒獅子ハーフマラソンコース(21・0975km)」で開催され、男子はコース2周(42・195km)7区間、女子

は1周(21・0975km)5区間で行われ、長井市陸上競技場を発着点に、各チームの選手たちが力走した。

協力隊長は、安全な車両操縦、確実な無線通信を駆使して、大会役員の輸送及び通信連絡に協力し、大会の円滑な運営に寄与した。



アンテナを構成し通信を補佐



安全な運転で役員を輸送

「令和3年度 山形県自衛隊 殉職隊員追悼式」に参加

11月13日(土)、駐屯地体育館において「令和3年度山形県自衛隊殉職隊員追悼式」が第6師団長(鬼頭陸将)執行のもと、厳正かつしめやかに執り行われた。

神町駐屯地では、警察予備隊以来の山形県出身者の陸上、海上、航空自衛隊殉職隊員22柱の御霊を追悼するため、昭和48年に自衛隊創立23周年記念事業として毎年継続して追悼式を実施している。

連隊からは連隊長(荒木1佐)以下7名が参列し、また、儀仗隊(隊長・第4中隊横山3尉)が編成され、鎮魂の「弔銃」が秋空の神町駐屯地に響き渡った。

厳正かつしめやかに



事前訓練において連隊長が指導



連隊から編成された儀仗隊

「令和3年度 王城寺原演習場 秋季統一整備」に参加



濃霧の中、作業を実施

刈り終えた草を集積運搬



土のうを用いて排水溝を補修



慎重に伐開

策を万全に実施せよ」「安全管理」の3点を要望し、「作業工程管理を適切に実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りつつ、安全管理を徹底し、1件の事故もなく任務を達成せよ」と述べた。

11月6日(土)から連隊の担任区分である「D-2弾着地」の整備(担当…第1、2、4及び重迫撃砲中隊)、各射場等の整備(担当…本部管理中隊)、既設道路整備(担当…全中隊)、訓練地域の伐開(担当…第3中隊)を実施した。

整備実施間、濃霧や降雨による厳しい環境下だったが、隊員たちは互いに声を掛け合いながら連携を取り、コロナ対策、安全管理を徹底し、効率的に作業を進め、計画通り11日(木)には整備を概成させ、13日(土)には担任官(第2施設団長の点検を受け、大きな事故もなく任務を遂行することができた。

11月5日(金)から13日(土)までの間、第2施設団が担任する「令和3年度王城寺原演習場秋季統一整備」に連隊整備隊長(連隊長…荒木1佐)以下350名が参加し、演習場の機能維持・向上のための整備を行った。

10月28日(木)には駐屯地において連隊編成完結式を行い、連隊整備隊長は「万事作戦を基準とし、任務を達成せよ」「コロナ対策を万全に実施せよ」「安全管理」の3点を要望し、「作業工程管理を適切に実施し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りつつ、安全管理を徹底し、1件の事故もなく任務を達成せよ」と述べた。

山形の秋空へ「令和3年度 航空機体験搭乗」を実施



秋晴れでフライト日和



機内から手を振る参加者



第6飛行隊による安全教育



広報紙「霞城」紹介ブースを設けPR



問診

当日は早朝から、山形特有の盆地霧で視界が遮られ飛行困難と思われたが、時間が経つにつれ青空が広がり絶好のフライト日和となり、参加者は「空からの景色はすごかった。」「楽しくてあっという間に終わってしまった。」「興奮した様子で空の旅を楽しんでいた。

当日は早朝から、山形特有の盆地霧で視界が遮られ飛行困難と思われたが、時間が経つにつれ青空が広がり絶好のフライト日和となり、参加者は「空からの景色はすごかった。」「楽しくてあっという間に終わってしまった。」「興奮した様子で空の旅を楽しんでいた。

による安全教育を受けた後、グループに分かれてヘリに搭乗、駐屯地上空から天童市上空までの約10分間の空の旅を満喫した。またフライトまでの待機時間には、駐屯地防衛館及び厚生センターの見学、広報DVDを放映したほか、連隊広報紙「霞城」の紹介ブースを設け、多くの方々に「霞城」をご覧いただき、中には「自衛隊の新聞興味ある！欲しい！」とお持ち帰りになる方がいるほど好評だった。

当初、駐屯地体育館において受付及び問診を済ませ、第6飛行隊

11月6日(土)神町駐屯地営庭において、協力団体及び協力者、隊員家族を対象とした「令和3年度航空機体験搭乗」を実施した。体験搭乗は第6飛行隊の協力を得て駐屯地広報班と合同で実施し、94名(内連隊枠37名)が参加した。

12月行事予定

- 1日(水) ・定期異動
- 6日(月)～17日(金)
・大高根演習場整備
- 14日(火)～15日(水)
・東根射場整備
- 21日(火) ・年末行事

「令和3年度 第1回女性活躍推進委員会」を実施



新配置隊員へアドバイスが送られた
(写真:奥右から2名が新配置隊員)

11月18日(木)、連隊教場において令和3年度第1回目となる女性活躍推進委員会が実施され、7名(内2名が新配置隊員)の女性自衛官が参加した。今回の委員会は事前にアンケートを実施し、女性自衛官の戦力化要領や勤務、生活に対する姿勢などについて議論が重ねられた。

話し合いでは、在職女性自衛官から令和2年度の委員会の説明が行われたほか、失敗や苦労がわかるような体験談を交えた意見が飛び交い、新配置隊員たちは「うなぎながら真剣に耳を傾け、「Lady Go!プロジェクト」について理解を深めようとしていた。

初めて参加した新配置隊員2名は女性活躍推進委員会に関心を示しつつ、「自衛官としての今後のキャリアプランについて真剣に考えたい」とコメントしていた。



意見が飛び交う

令和3年度の女性活躍推進委員会は「連隊所属の女性隊員がその個性と能力を十分に発揮できる組織を実現するため、女性自衛官の意見を活用しつつ、職場における制度を計画的に整備すること」を目的に計2回の活動が計画されている。

「令和3年度 防衛省永年勤続表彰伝達式」を実施



表彰伝達

11月4日(木)、連隊教場において「令和3年度防衛省永年勤続表彰伝達式」を実施した。式には入隊から25年間勤務に奨励した14名が参加し、防衛大臣からの「御祝いの言葉」の紹介の後、連隊長より表彰伝達を受けた。

連隊長は訓示において「今後とも永年培ってきた豊富な知識と経験を活かし、任務に誇りをもって、各種訓練等に臨んでもらいたい」と述べ、隊員の受賞を祝った。



連隊長訓示



記念撮影

各種表彰

【令和3年度 王城寺原演習場秋季統一整備優秀隊員】

(第2施設団長より褒賞メダル)
・第3中隊 3曹 仲川 翔大

【10月警衛勤務優秀らっぱ手】

・第3中隊 3曹 布施 守
(6日上番)
・本部管理中隊 3曹 加藤 広大
(13日上番)
・第2中隊 士長 岩山 宗洋
(28日上番)
・第3中隊 士長 佐藤 大亮
(29日上番)

令和3年度 第2次師団訓練検閲優秀隊員紹介



本部管理中隊
陸曹候補生 陸士長

大場 銀次郎

(対戦車小隊FO通信手としての功績)

【所見】 今回初めて防御の連隊検閲に参加しました。約40kmを行進した疲労困憊な状況のなか、防御準備を行いつつ、細心の敵情を報告できたので与えられた任務を達成できたと思います。これからは陸曹候補生として日々精進して行きます。



第1中隊
3曹

川邊 啓太

(第1小隊通信手としての功績)

【所見】 防御戦闘間、目まぐるしく戦況が変化中、小隊長の卓越した指揮、FOの精密な火力要求、小隊陸曹の円滑な作業指揮を間近で体感できたのが最大の成果でした。
今後は、初級陸曹として後輩通信手に通信の重要性及び技術を指導するとともに、諸先輩方と肩を並べられるように精進していきたいです。



第2中隊
3曹

四釜 稜一

(狙撃班狙撃手としての功績)

【所見】 今検閲間、主に監視任務にあたり情報収集及び火力要求を隠密かつ効果的に実施でき、微力ながら中隊に貢献することができました。
今後も経験を積み、更にスキルアップを目指します。



第3中隊
士長

松田 亨成

(第3小隊通信手としての功績)

【所見】 初めての連隊検閲だったが、通信手として中隊や小隊の有線・無線の構成に寄与し、任務達成に邁進することができた。事前に偵察を行い、小隊長と計画をたて有線構成などできたのでよかった。
今回の経験を活かして、これからも練度向上に努めていきたい。今後は陸曹を目指し、中隊の先輩方のように立派な陸曹になれるよう日々努力、精進していきたい。



第4中隊
士長

浅間 颯斗

(1小隊小銃手としての功績)

【所見】 連隊検閲では、しっかり自分の役割を果たせるか不安でしたが、分隊長の指示をしっかりと聞き、積極的に行動できたと思います。
今後は今回の経験を活かして中隊、小隊により貢献できるように頑張っていきたいです。



重迫撃砲中隊
3曹

西村 亮馬

(1小隊2分隊長としての功績)

【所見】 小隊長の適切な指導のもと陣地構築、防御戦闘等の任務を全うすることができました。また、分隊長各々が任務を理解し積極的に協力してくれたおかげで任務を遂行することができました。
今後はさらに資質向上に努め、中隊、連隊に貢献できるように頑張っていきたいです。